

2022年7月20日

各位

Y I T O Aマイクロテクノロジー株式会社

**自動運転レベル4の実用化へ期待される車載 LiDAR 用途向け MEMS ミラーのサンプル出荷を開始**

**Y I T O Aマイクロテクノロジー MEMS ミラー CG0006AR**

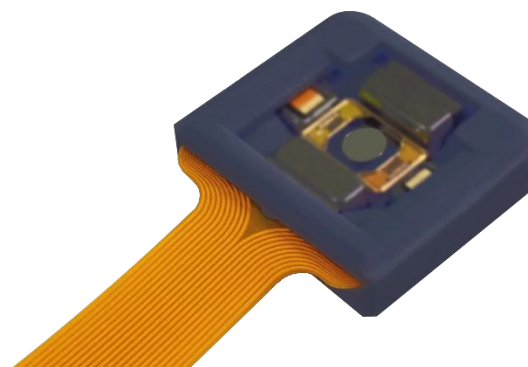
Y I T O A（イトア）マイクロテクノロジー株式会社（本社：山梨県甲府市 社長：島村直良）は、自動運転レベル4の実用化に向け期待される車載 LiDAR 用途向け MEMS ミラー（CG0006AR）を開発し、7月よりサンプル出荷を開始します。

MEMS ミラーを使用した LiDAR は、ソリッドステート方式と呼ばれ、従来のメカニカル方式の LiDAR と比較して小型化、高信頼性化、低価格化が実現できるとされ、車載 LiDAR の普及に向け実用化が期待されています。

Y I T O Aマイクロテクノロジーは、2011年より MEMS の研究開発をすすめており、特定顧客向けに MEMS ミラーの出荷実績があります。

今回の MEMS ミラー CG0006AR は、当社独自の設計技術、自社製造ラインにより開発をすすめており、広く国内外の顧客に向け販売を計画しています。

また、AR グラスや HUD 用途等向けに、更に小型化、小口径ミラー化した、MEMS ミラーの開発も行っており、開発終了次第、順次サンプル出荷をしていく計画です。



(図) MEMS ミラー CG0006AR



## 1. CG0006AR 商品の特徴

- ・車載 LiDAR 向け電磁誘導方式 MEMS ミラー
- ・ミラー径 φ4mm
- ・2 軸(X、Y 軸)一体型
- ・広 FOV を実現：60x30°
- ・角度センサ、温度センサ内蔵
- ・パッケージサイズ：24x22x6.6mm

## 2. 商品化の狙い

自動運転の実現に向け、LiDAR (Light Detection And Ranging) と呼ばれる、光による検知と測距と呼ばれる機器の搭載が期待されています。LiDAR は、レーザー光を照射しレーザー光が物体に当たって返ってくるまでの時間を計測することで、距離、方向、位置、形状などを測定します。

LiDAR の普及に向けては多くの課題があり、従来の方式である機械的な回転型では、小型化、低価格化、高信頼性が困難でした。

ソリッドステート方式と呼ばれる MEMS ミラー方式を使用することにより、小型化、低コスト化、高信頼化が実現でき、LiDAR の普及につながると期待されており、Y I T O A マイクロテクノロジーでは MEMS ミラー IC の開発を行ってきました。

また近年普及が期待されている AR スマートグラス、自動搬送車、ロボット、監視市場用途等でも、レーザー・ビーム・スキャニング(LBS)方式には MEMS ミラーが使用されるため、LiDAR 用途向けより更に小型化、低コスト化した MEMS ミラー IC の開発も継続しています。

## 3. この件に関するお問い合わせ先

Y I T O A マイクロテクノロジー株式会社

〒400-0053 山梨県甲府市大里町 465

055-241-8611 (代表)

<https://www.micro-technology.co.jp/>

<https://www.micro-technology.co.jp/index-e.php> (English)

\* 脚注：Y I T O A マイクロテクノロジーは、旧名パイオニアマイクロテクノロジー株式会社で 2020 年に株主変更により社名変更しました。